



校長室から

金津小学校校長室だより
平成27年2月27日発行
第11号



卒業の思い出に油絵を描きました

今年は、幸運なことに、6年生は金津創作の森に入居されている画家の今村博先生に教わりながら、油絵体験をすることができました。今村先生から、「世界でたった一枚の絵ですよ。一生の思い出になりますよ。」と温かい励ましの言葉をいただきながら、6年生の子どもたちは、生まれて初めての油絵を思い思いに描いていました。

どの絵もそれぞれに様々な色を使い、それぞれの個性溢れた作品が出来上がりました。

子どもたちは、「油絵は何度も塗れて楽しい」「意外と難しい」と嬉しそうでした。

今村先生からは、イタリアやフランスそしてスペインなど、先生がかつて訪れたヨーロッパでの体験も交えながら、楽しいひとときを演出して下さいました。今村先生そして金津創作の森のスタッフの皆様、ご協力ありがとうございました。



川村文雄さんのピアノコンサートに大きな感動が生まれました

2月20日に、丸岡町出身のピアニスト、川村文雄さんによるピアノコンサートが本校の体育館で行われました。川村さんは、ピアニストとしても一流ですが、人柄も大変誠実でその人柄が演奏にもにじみ出ていると私は思いました。子どもたちはしんと静まりかえり、川村さんの全身全霊をかけた素晴らしい演奏に酔いしれているのがよく分かりました。

今回、川村さんが来福される機会があり、その合間に本校でのコンサートをお願いしたところ、快くお引き受けいただきこのコンサートが実現しました。お出で下さった保護者のみなさまも皆一様に、感動したと言って下さり大変嬉しく思いました。会場は体育館でしたが、川村さんの素晴らしい演奏は場所を選ばず、素晴らしいコンサート会場に生まれ変わりました。以下に子どもたちの率直な感想を載せさせていただきます。



川村さんのひいていたピアノがこころにひびきました。キラキラぼしへんそうきよく知っていて、うたいたくなりました。ぜんぶいい音ですてきでした。校歌を川村さんのピアノで歌えてうれしかったです。わたしも川村さんみたいにいっぱいひいてみたいです。(1年生女子)

わたしは、まだメヌエットやよろこびの歌しかひけないけれど、川村さんのえんそうを聞いて、もっとむずかしい曲もひけるようになりたいなと思いました。わたしはしょうらい川村さんみたいな日本でも、せかいでめかつやくできるピアニストをめざして、これからもがんばります。(2年生女子)

わたしは、川村さんのピアノがきれいだなと思いました。子犬のワルツはいい曲ですね。子犬のワルツを聴いたらゆう気ができました。どうもありがとうございました。川村さんのコンサートでいい曲がたくさんありました。わたしは音楽が大好きになりました。金津小学校に来てくださってほんとうにありがとうございました。(3年生女子)

川村文雄さんすばらしいピアノをひいてくださってありがとうございました。全部の曲、本当にすばしかったです。川村文雄さんがひいているのを初めて見たのですが、手のさばきが早くてきれいな音が出ていてすごいと思いました。ぼくは、最初ピアノにきょうみがなかったのですが、今日のコンサートできょうみがわきました。これから東京でもがんばってください。(4年男子)



ぼくは、全ての曲が体育館全体に美しい音色が響きあっていたと思いました。その中でも、子犬のワルツが心に残りました。子犬が元気よく走りまわっている様子も想像できました。わざとリズムがずれているのがおもしろかったです。川村さんの話の中で、ぼくは自分の夢に向かって希望をもって努力をすることが大切だということがすごく心に残っています。校歌もひいてくださりありがとうございました。(5年男子)

今日は素晴らしい演奏を聴かせてくださり本当にありがとうございました。川村さんの演奏は、映画の中にいるような不思議な気持ちになる、本当にきれいで、せん細で言葉では言い表せないくらいすばらしいものでした。川村さんのおかげで、クラシックに親しみをもつことができました。すてきな経験ができて本当にうれしいです。(6年女子)

この他にも子ども達の手紙には、コンサートを聴いた感動が溢れんばかりに書かれています。今回のコンサートを通して、子どもたちは将来に向けて何か夢や希望をもち、コツコツと努力を続けることが大切だということを学んだと思います。福井県の誇りである川村文雄さんのコンサートは、子どもたちに大きな感動を残してくれました。